

地域医療連携だより

やまびこ

発行日：平成 29 年 7 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

ふるさとを守る医療
女性の健康を守る



- 産婦人科手術について
- マンモグラフィ装置を更新しました
- 第20回日本救急医学会 中部地方会 総会・学術集会開催のお知らせ

産婦人科医師：前列左から 矢野竜一郎医師・中野 隆医師
後列左から 柴原万友香医師・坊本佳優医師



ふるさとを守る医療 ～女性の健康を守る～



産婦人科手術について

産婦人科部長 矢野 竜一郎

日本では産婦人科業務に携わる医師が近年減少の一途を辿っています。中でも岐阜県は対人口比率で常にワースト 5 に入るほど、産婦人科医不足が深刻な地域であり、産婦人科医療の崩壊がまさに目前まで迫っているのが現状です。高山赤十字病院ではこれを断固阻止すべく、飛騨地域の全ての女性のために、満身創痍の産婦人科医局員がチーム一丸となって膨大な臨床業務に取り組んでいます。今回その業務の要となる「産婦人科手術」について紹介させていただきます。

● 産科

経膈分娩後の会陰裂傷縫合術はもちろんのこと、帝王切開術においては前置胎盤などのハイリスク症例にしても積極的に行っています。さらに遺残胎盤・弛緩出血など分娩後の危機的出血例にも緊急対応しています。高度な周産期医療を小児科はじめ各診療科との連携のもとで24時間365日提供可能です。



また、高山赤十字病院は「赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital:BFH)」の認定を目指しています。「赤ちゃんにやさしい病院 (BFH)」とは、お母さんに母乳育児を推進することによって、赤ちゃんができる限りベストな環境で、安心して育つことができるように支援する病院です。地域と一緒に

質の高い母乳育児支援に取り組んでいきたいと考えています。



● 婦人科

婦人科内視鏡手術を中心に幅広く施行しています。腹腔鏡手術は開腹手術と比べ手術侵襲が少なく、術後3日で退院可能です。

創部が小さいのは勿論のこと、術野を拡大視することでより精密な手術を可能とする利点があり、開腹手術自体が困難な症例にも良い適応となります。最もスタンダードな術式である腹腔鏡下子宮全摘術は、下腹部に5mmの皮膚切開を4箇所加えるのみで手術を完遂できます。卵巣腫瘍・早期子宮体癌に対しても5mmの皮膚切開3~4箇所のみで行い、摘出標本をすべて経膈的に回収することで根治性を担保しつつ手術の低侵襲化を実現します。また条件が整えば2mmの細径鉗子を併用、整容性を極限まで向上させます。オリジナル溢れた精度の高い内視鏡手術を当科は施行しています。

妥協を許さない確固たる意志・信念を持ったプロフェッショナルが高山赤十字病院に集結しています。当科では地域の皆様および医療機関との連携をもとに、世界最高水準の医療を患者サイドに提供すべく日々精勤致します。宜しく願い申し上げます。

マンモグラフィ装置を更新しました

2017年3月に当院のマンモグラフィ装置が更新され、トモシンセシス機能を有する「AMULET Innovality」（富士フィルム社製）を導入しました。

トモシンセシスでは、圧迫された乳房に対して、X線管を移動しながら連続的に多方向からX線を照射、異なる複数の位置から投影した画像を断層像として再構成することで、乳腺を薄くスライスした画像を得ることができます。

従来法に比べ、乳腺の細かな部分まで観察することができ、乳腺内の情報量が増え、診断の精度向上につながります。

また、マンモグラフィが苦手とする高濃度乳腺内の病変描出においても描出能が高くなり、今までより診断精度が高くなっています。

更に、人工知能を用いた画像処理技術により、低線量で高画質が得られる仕様となっています。

痛みが軽減する圧迫板を用いることで、以前よりもしっかり圧迫でき、乳腺を伸ばして撮影することができるため、乳腺と腫瘍の重なりが少なくなり病変を検出しやすくなります。今までより画像情報量が増え、被ばく量の低減・痛みの低減が望める検査が行えるようになりました。



更新に伴い、患者さんにリラックスして検査を受けてもらえるように、間接照明やBGMの設備を整えました。

また、当院のマンモグラフィ検査は、日本乳がん検診精度管理中央機構の認定資格を持つ女性技師が行っており、より良い画像が提供できます。

現時点で、乳癌の罹患率は12人に1人と年々増加しています。また、罹患する女性の年齢層は30歳代から増加し始め、40代後半にピークを迎えます。その後はほぼ一定に推移し、60代後半から次第に減少しており、子育て世代や働き盛りの女性が乳癌になっています。

乳癌はしこりが触れる・乳頭から血の混ざる分泌物がでた等自覚症状のあるものもありますが自覚症状のないものもあります。自覚症状のないものは、マンモグラフィ検査を受けていただく事で発見できることがあります。

乳癌は早期発見により、部分切除も可能であり、部分切除をした場合、放射線治療が必要となります。当院では手術・化学療法のほか、放射線治療の体制を整えており、診断から治療まで一貫して行うことができます。

第20回日本救急医学会 中部地方会 総会・学術集会開催のお知らせ

[テーマ]

地域の救急・災害を担う人材育成

第20回日本救急医学会 中部地方会 総会・学術集会 会長
高山赤十字病院 副院長・救命救急センター長 白子 隆志

日頃より、飛騨地域の救急診療にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。このたび、第20回日本救急医学会 中部地方会 総会・学術集会を今秋11月18日(土)に高山市民文化会館で開催しますのでご挨拶申し上げます。開催にあたり、高山市、高山市医師会にはご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本救急医学会 中部地方会は、中部9県(東海・北陸・甲信)から救急関係の医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、救急隊員など約800人が高山に集い、救急医療の知識・技術・制度の向上を目指して「人材育成」を中心に演題発表・討論します。シンポジウムでは、「地域の救急医療体制の構築」をテーマに市民公開講座を開催したいと考えています。是非、医師会の皆様、一般市民の皆様にもご参加いただき、今後の救急医療について高山から情報発信ができれば幸いです。宜しくお願ひ申し上げます。

ホームページ <http://square.umin.ac.jp/jaam-chubu20/>

第20回
日本救急医学会
中部地方会 総会・学術集会

2017年
11月18日(土)

会場 高山市民文化会館 〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1-188-1

会長 白子 隆志 高山赤十字病院副院長・救命救急センター長

事務局 高山赤十字病院内 〒506-8550 岐阜県高山市天満町3-11
TEL: 0577-32-1111 FAX: 0577-34-4155 E-mail: qq-sarubobo@takayama.jrc.or.jp

テーマ 地域の救急・災害を担う人材育成



新任医師の紹介



内科

藤澤 太郎 (ふじさわ たろう)

6月より松波総合病院から赴任しました藤澤太郎と申します。内分泌、糖尿病疾患を専門としておりますが、内科一般を幅広く研鑽していきたいと思っております。まだまだ未熟な点多々ございますが、飛騨・高山の医療に少しでも貢献できるように精一杯努力していく所存です。よろしくお願い申し上げます。

退任医師

内科 高橋 佳大 平成29年5月31日付

編集後記

4月に総務課より地域連携課へ異動してまいりました、池戸と申します。慣れない業務に悪戦苦闘の日々ですが、一日でも早くお役にたてるよう勉強してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。また、今年度より「やまびこ」編集も担当させていただいております。皆様からのご意見やリクエストにもお応えしていきたいと思っておりますので、何かございましたら、ご連絡お待ちしております。今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

地域連携課 池戸 益美



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL: 0577-35-1880 FAX: 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ <http://www.takayama.jrc.or.jp/>